

【第1回 学校運営協議会】

令和3年5月18日実施

1 開 会

2 委員委嘱

3 自己紹介

4 会長、副会長の委嘱

○会長：花尾 定義 ○副会長：松本みゆき

5 協議と承認

- | | |
|-------------------------|----|
| (1) 学校経営方針の承認 | 承認 |
| (2) 学校の現状報告 | 承認 |
| (3) 教育課程の承認 | 承認 |
| (4) 学校行事の計画について | 承認 |
| (5) 「至誠」育成プロジェクトチームについて | 承認 |

6 質疑応答（学校運営に関すること）

NO	意見及び質問事項 等	改善・対応策 等
1	・小規模校になると人間関係も固定化され競争心も芽生えられにくいと思うが、閉塞感を打破するにはどうしたらよいか。	・学校行事において、保護者や地域住民が積極的に関われる場面も設定していく。 ・地域や保護者の協力を得ながら、小規模校だからできる特色ある教育を推進していく。
2	・実行性のある運営協議会にするためにはどうしたらよいか。	・地域とともにある学校づくりをすすめる。そこで学校運営への参画と協働を進めるために3つのチームを編成し、各委員がどこかのチームに所属し、意見や要望等を提案しやすい組織を構築する。 ・会議場所として、学校の会議室や空き教室等を開放する。 ＜「至誠」育成プロジェクトチームの発足＞ ① まごころ教育チーム ② 学習支援・学力向上チーム ③ 環境・安全チーム
3	・昨年度、コロナ禍であっても生徒たちが「できる」こと考え実践された。生徒の力に驚きを覚えたのと保護者として感謝したい。	・本年度もコロナの感染防止に最大限努めながら、学びや体験活動を中止するのではなく、「どのようにすれば出来るのか」を生徒会や運営協議会と協議を重ね教育活動の推進を図っていききたい。
4	・県指定の「伝統文化学びの充実事業」の進捗状況と学校行事とのつながりはどうなのか。体育祭の中で、「生野踊り」を種目として披露することで地域住民との交流が図られるのではないかと考える。	・小学校と連携しながら進めている。朝来ドリームアップ事業として、各学年はふるさと教育を実践している。本年度、全校生に「生野踊り」を伝承してもらう予定である。 ・体育祭を2部制にして、午後から全校生による地域住民との「グラウンドゴルフ大会」や「生野踊り」で交流を深めるなどのいただいたご意見を検討していく。

5	<p>・生徒同士あるいは職員と生徒の間での呼び方はどうなっているのか。あだ名などの呼び方はしているのか。</p>	<p>・昨年度、第2回会議でのご意見があり対応を図っている。「ちゃん」や「あだ名」は使用しない。また、教職員は生徒に対して「さん」に統一し呼名している。</p>
6	<p>・登下校の生徒の様子から感じるのは、素直な生徒さんが多く、あいさつも行なってくれる。自転車通学生も交通ルールを遵守する姿はうれしく感じる。元気のない生徒も見受けるので心配なところもある</p>	<p>・生徒会中心に教育活動の活性化を図っていく。生徒会役員との座談会を通して意見を聞き、一人一人が主人公となり活躍出来る場を企画し提供していきたい。</p> <p>・「あいさつ運度」の継続と「1分間スピーチ」の実践を通して、生徒の自尊感情を高めていく。</p> <p><小・中合同あいさつ運動の実施> (5/31~6/4)</p>
7	<p>・毎月19日を「生野の日」として全校生がボランティア活動を行なうようだが、どのようなことをするのか。</p>	<p>・月の19日前後日の放課後に全校生が地域に出向いて、地域の方との交流や奉仕活動を生徒会活動として行うことを考えている。</p> <p>・本協議会の「まごころ教育チーム」とも連携し、企画等があれば参考にし、協力をいただきながら推進を図っていく。</p>

7 閉 会